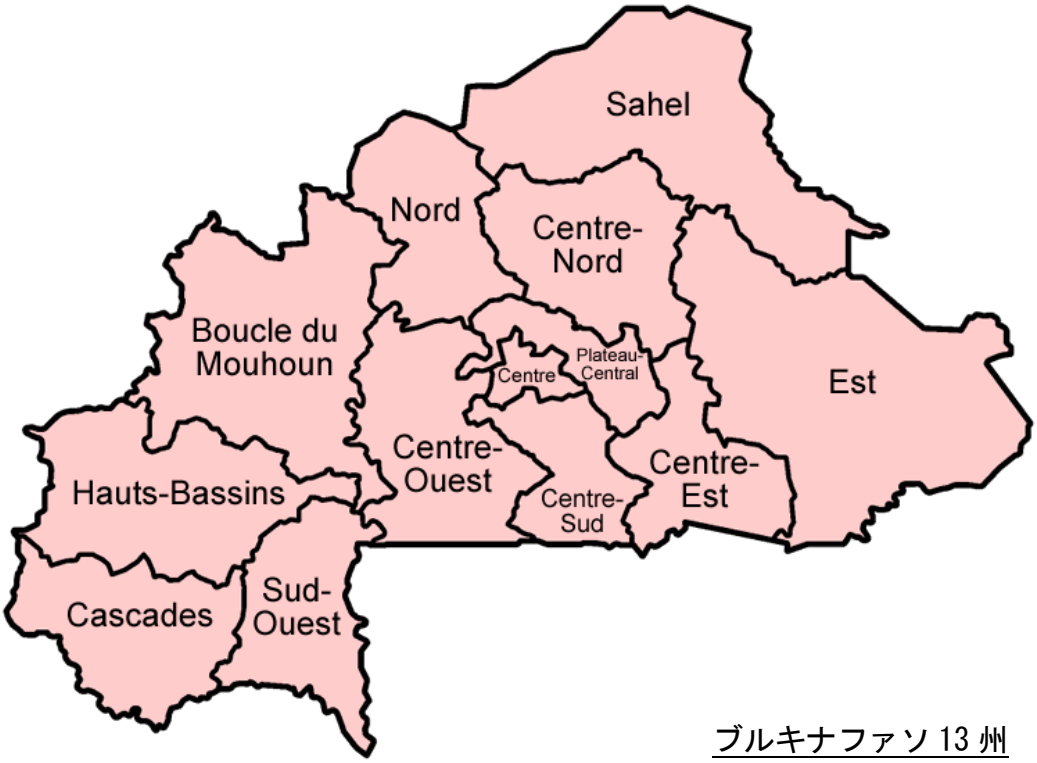
● ブルキナファソの近況 ●

※ ニュースレターには掲載し切れなかった情報をお伝えいたします。



ブルキナファソ 13 州

・２月 25 日、北部（Nord）州の３村で戦闘が起き、約 170 人が犠牲になりました。詳細については現在調査が進められていますが、この地域に潜伏していた武装勢力と治安部隊との戦いに一般住民が巻き込まれたとの報告もあります。

・また同時期には、サヘル（Sahel）州においてキリスト教の教会、東部（Est）州ではイスラム教のモスク等、宗教施設が武装集団に襲撃される事件も起きており、いずれも大きな被害を出しています。

・国土の４割以上が武装勢力の支配下にあり、国民の１割弱にあたる約 200 万人が居住地を追われて難民化していること、また全国 45 県中 22 県に対して「非常事態宣言」が発令されている状況は変わっていません。

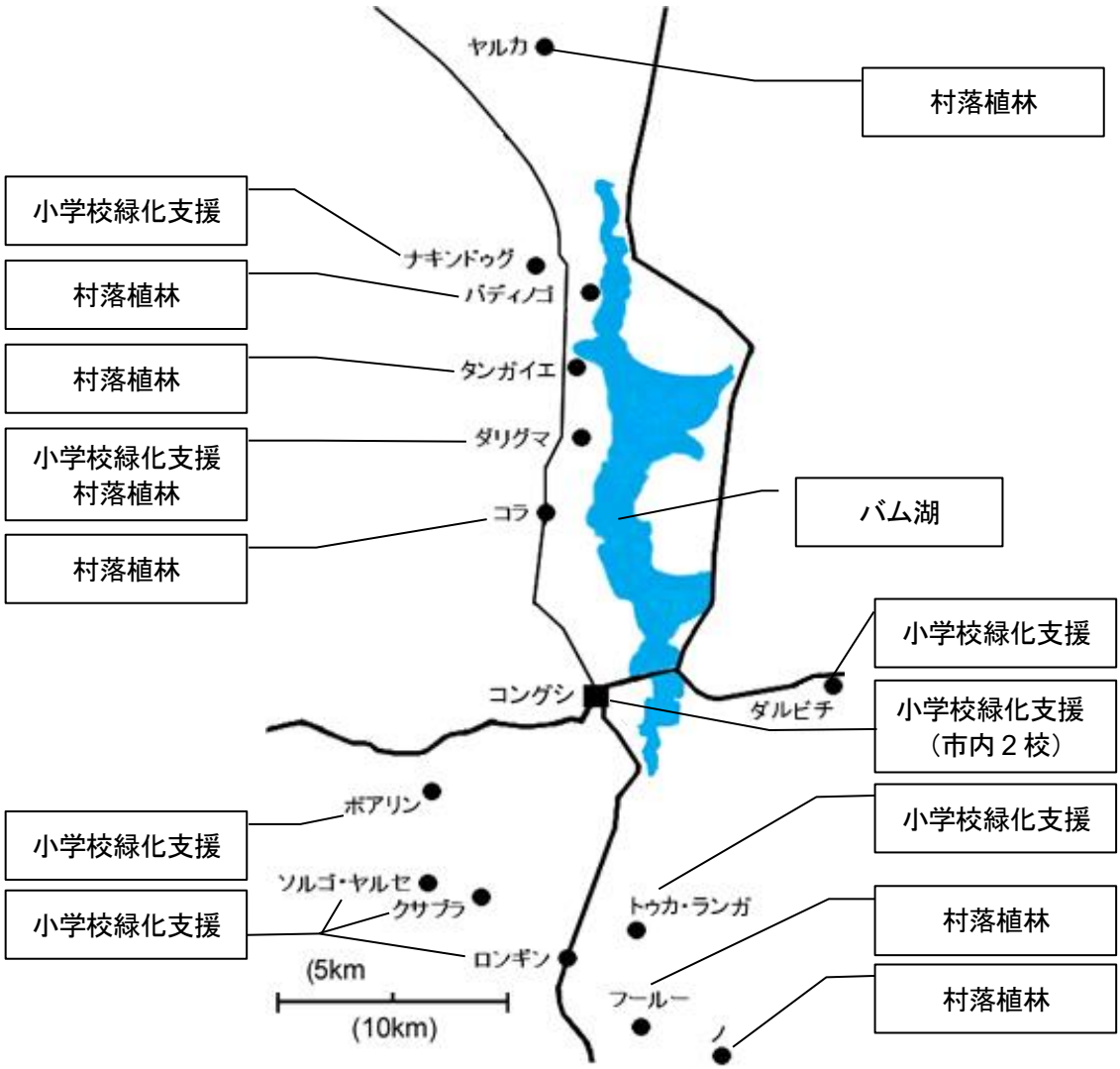
・日本政府は引き続き、ブルキナファソの中央部を除くほとんどの地域を最も危険度の高い「退避勧告」（退避して下さい。渡航は止めて下さい。）地域に指定しています。「緑のサヘル」の活動地であるバム県コングシ地域は中央北部（Centre-Nord）州の西側にあり、「退避勧告」地域に含まれています。

・３月 10 日前後にはイスラム教の断食月（ラマダン）が始まりますが、例年この時期に武装勢力の活動が活発化する傾向があることから、更なる状況悪化が懸念されています。

● コングシ地域の近況 ●

※ 一部ニュースレターの掲載記事と重複しています。

＜バム県コングシ地域活動実施村位置図＞
（2022 年時点）



- 地域の治安がやや回復し、一部住民の帰村が始まっています。**クルペレ**、**バディノゴ**、**タンガイエ**、**ダリグマ**、**コラ**等、７村については帰村が完了、また**ボアリン**、**ソルゴ･ヤルセ**、**ロンギン**もその途上にありますが、食糧状況が特に厳しい**ヤルカ**、**ナキンドゥグ**、**ダルビチ**、**トゥカ･ランガ**、**フールー**、**ノ**等の各村については帰村が進んでいません。

- **コングシ**市内には 24,000 人を越える避難民が留まっており、２月末には**ヤルカ**村が武装集団による襲撃を受ける等、地域の状況は未だ予断を許しません。キャンプ地で暮らす避難民、帰村した住民の双方とも、食料や生活用品を支援に頼らざるを得ない状況は変わっておらず、乾季を迎えて疲弊や体力消耗による衰弱が懸念されています。

★ 皆様からのご支援をお待ちしています ★